

"避難"のすすめ



3月23日に発災した林野火災では、7か所の避難所（自主避難所除く）が開設され、合わせて400人近くの方が避難されました。今回は避難指示が出された期間や範囲も限られていましたが、近い将来に発生すると予想される南海トラフ巨大地震に見舞われた場合、その避難指示の規模と期間がはるかに大きくなる可能性も十分に考えられます。

ある日突然やってくる災害に慌てないためには、日々の暮らしに防災を組み込み、日常の中で「もしも」に備えることが大切です。



市内10か所の小中学校と、11か所の支所の防災倉庫で備蓄をしています。

■令和7年今治市林野火災「ゲンバの声」



避難所の対応にあたった

〈桜井公民館〉
館長 世良 徹也

桜井公民館が避難所になっている間は、公民館の職員と応援の合わせて5人で運営していました。開設している間に、火災の影響で停電や断水などトラブルが起こり、良い状態で受け入れられないときもありました。

市や公民館にも毛布や簡易トイレなどの備えがあり、地域の人と一緒に避難訓練も行っていますが、今後南海トラフ巨大地震のようなさらに大きな災害が起こったとき、果たして万全に運営できるかどうか分かりません。道路がふさがって物資が届かなくなったり、長期間の避難生活になることも十分考えられます。その際の対応については、しっかりと想定しておかなければなりません。



災害対策本部で総括を行った

〈防災安全局〉
局長 越智 貴紀

この度の「令和7年今治市林野火災」では、過去最大の林野火災となってしまいました。そういった中、7地区3,056世帯の皆さんへ避難指示を発令させていただきました。

尊い人命は守られたものの、大事なご自宅や財産に被害を受けられました方々にお見舞い申し上げます。

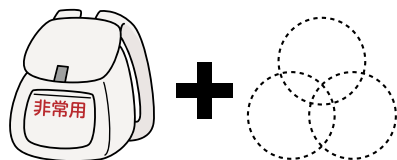
今回の火災では、現場に近い桜井小・中学校の避難所開設は見送り、距離はありますが、国分小学校と国分公民館の避難所を開設しました。避難所を決めておいても、さまざまな状況からお住いの近くの避難所が開設できない場合もあります。避難行動を実施する場合には、今治市が発信する、避難情報や避難所情報を確認してから避難をお願いします。

実際に避難する時の具体的なイメージを持つことが大切

"避難"を知る

1.非常用持ち出し袋+α備蓄しよう!

避難用の「非常用持ち出し袋」を準備している家庭も多いと思いますが、外出中に突如災害が発生したり、避難が長期化して、持ち出し袋だけでは足りなくなる場合も予想されます。状況を段階的に考え、+αの備えがあるとよいでしょう。



持ち歩く防災グッズ

普段使うカバンなどに「日常的に」入れておけば、突然の被災にも対応できます。ポーチに小さくまとめておきましょう。

例えば

- ☐ スマホの充電器、充電コード
- ☐ 音の鳴るもの
- ☐ 財布(小銭も準備)
- ☐ 飴
- ☐ 水筒

他にも、おくすり手帳や、母子手帳、ラジオ、スマホには防災アプリを入れておくなど、事前に確認できるようにしておきましょう!

非常用持ち出し袋

玄関など、すぐに持ち出せる場所に置いておき「自分(子ども)が」「家から避難所まで」「すぐに持ち出せるか」という基準で、3日ほどを乗り切ることを目的に、整理しましょう。

POINT 季節に合わせて準備しておく

衣類はなるべく着て、ヘルメットやマスクも着用しましょう。夏・冬は、別途季節用の袋を一緒に備えておきましょう。

夏

- ☐ 薄手の服
- ☐ 少し多めの水
- ☐ タオル
- ☐ ウエットティッシュや汗拭きシート
- ☐ 塩分補給できるもの
- ☐ 虫よけグッズ

冬

- ☐ 厚手の服、羽織るもの
- ☐ 厚手の靴下
- ☐ カイロ
- ☐ 保湿用グッズ(クリームなど)

長期避難時のための準備

非常用持ち出し袋だけが備蓄という訳ではなく、長期間避難しなければいけない時のためにも大きめで頑丈な収納袋や、旅行用バッグなどに、食料や生活用品をまとめておくと安心です。

例えば

- ☐ 筆記用具
- ☐ 常備薬
- ☐ 軍手やゴム手袋
- ☐ カセットコンロ
- ☐ キャンプ用の寝袋や椅子
- ☐ ティッシュ、コップ、皿などの生活用品

今日からはじめるローリングストック

食料を多めに買い置きし、賞味期限が古いものから消費、消費した分を買い足す…というサイクルで、普段から家庭内に一定の食料が備蓄されている状態を保つ方法です。

POINT 家庭備蓄が備えに

食料だけでなく、日用品にも当てはめることができます。普段から食べたり、利用しているものをローリングストックして、避難生活も慣れたもので乗り切りましょう。



2.避難のしかたにもいろいろ…

在宅避難

ライフラインなどが寸断されていても、自宅にいて直接の安全が確保できる場合は、指定避難所へ行く必要はありません。ブレーカーやガス栓に注意しながら、突発的な被害に対応できる動線を確認しましょう。

分散避難

指定避難所以外に避難することであり、在宅避難もこの一種です。安全な地域の親戚・知人宅、宿泊施設で過ごすことで、心理的負担の軽減やプライバシー確保につながります。

POINT 車中泊について



車中泊も分散避難の一種ですが、災害の状況によっては推奨されない場合があります。エコノミークラス症候群に気をつけ、2時間おきに外に出たり、こまめな水分補給や換気を行ってください。

ペット避難について

大切な家族であるペットとは可能な限り一緒に避難することが勧められています。ただし避難所では、他の避難者に配慮し、屋外や車内で対応しなければならない場合があります。そのためにもケージの用意や、しつけなど日頃から同行避難できるような備えをお願いします。



「避難場所」と「避難所」

市が指定する避難先の種類は2種類あります。近くの避難先がどちらに指定されているか、確認しておきましょう。

- 避難場所…災害の危険が迫ったときに、まず命を守るために緊急で避難する広い場所。備蓄などは用意されていない場合が多く、「緊急の」避難先です。
- 避難所…災害によって自宅に住めなくなった人や、被害を受ける可能性が高い人が、一定期間生活するための場所。寝泊まりや生活ができるように、建物(学校の体育館、公民館など)に設けられます。

"避難"を計画する

災害時に、いつ何をするのか決めておこう

マイタイムラインの活用

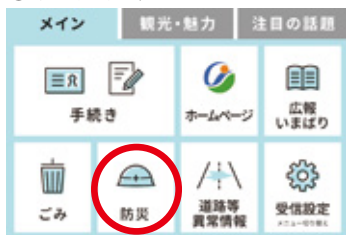
マイタイムラインとは、災害発生時に個人や家族が取るべき行動を時系列で整理した防災行動計画です。

特に台風や洪水など、風水害の被害の際に有用です。落ち着いた行動ができるよう、あらかじめ決めておきましょう。マイタイムラインは今治市公式LINEから作ることができます。

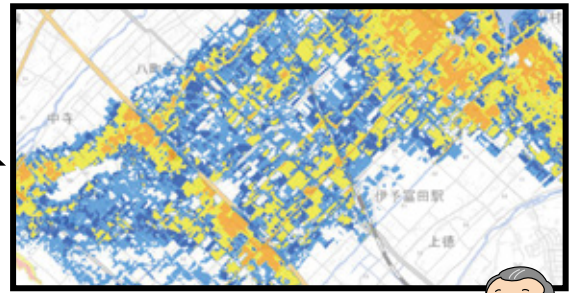
今治市公式LINE
友だち登録はこちら



①防災を押す



②SINマイタイムラインを押す



防災マップでは
(土砂災害や洪水時の警戒区域など)を
確認することができます。



③風水害編、地震・津波編の
2種類があります。まずは気になる
タイムラインから作ってみましょう!



危険度
高



危険度
低

レベル	発表される情報例	取るべき行動例
警戒レベル 5	大雨特別警報／はん濫発生情報／ 緊急安全確保	●すぐにとれる命を守る行動を
レベル4までに、安全な場所へ避難		
警戒レベル 4	土砂災害警戒情報／はん濫危険情報／ 避難指示	●避難指示の対象区域は速やかに避難
警戒レベル 3	大雨・洪水警報／はん濫警戒情報／ 高齢者等避難	●ハザードマップが示す危険な場所からは、避難準備 が整い次第避難開始 ●高齢者や要介護者は速やかに避難
警戒レベル 2	大雨・洪水注意報／はん濫注意情報	●情報が受け取れるようにしておく ●携帯電話の充電 ●防災マップや避難場所の確認 POINT 起こりうる災害で、自分が本当に自宅から避難すべきなのかを確認しましょう。場所やタイミングによっては、避難所に向かうことがかえって危険かもしれません。災害リスクのある区域を確認し、自宅が安全なら在宅避難を。防災マップは、WEB上の地図でも確認できます。
警戒レベル 1	早期注意情報 まだ危険はないが、これから災害が予想されるタイミング	●非常用持ち出し袋や備蓄の準備・点検 普段からの備えが大事!



この段階をもとに、いつ何をするか、どこへ避難するか、ご家庭の状況に合わせた具体的な計画・シミュレーションをしてください。

いつ

- ☐ 台風の予報が出たら
- ☐ 警報が出たら
- ☐ 緊急速報メールを受信したら

なにを

- ☐ 家族の状況を確認
- ☐ どう避難するかをチェック
- ☐ 家族が常用している薬を用意

6月1日～7日 「がけ崩れ防災週間」

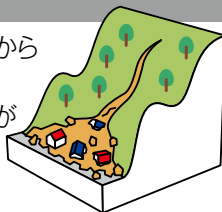
毎年6月は「土砂災害防止月間」

一瞬にして人命や財産を奪う土砂災害。土砂災害の多くは長雨や大雨が引き金となって起こります。災害から身を守るには、その前ぶれを知り、日頃から危険箇所や避難所の確認など、十分に備えることが大切です。

土砂災害の種類と、その前ぶれ

土石流

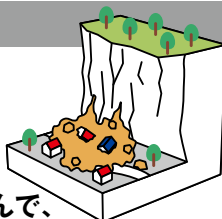
- ☐ 近くで土砂崩れなどが発生、斜面から異常な音（山鳴り）がする
- ☐ 溪流の流水が急に濁り、流木などが混ざる
- ☐ 川の水位が下がる



山の土や石などが水と一緒に、一気に谷川を流れてくる現象

がけ崩れ

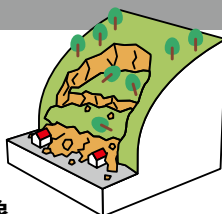
- ☐ 山鳴りがする
- ☐ 斜面に亀裂が走る
- ☐ 小石が斜面からぱらぱら落下する



大雨などの水が地面の土に染み込んで、突然、土や岩が大きく崩れ落ちる現象

地すべり

- ☐ 地面が振動する
- ☐ 亀裂や段差が発生、拡大する
- ☐ 地下水が濁る



広い範囲にわたって、斜面の土が滑り落ちる現象

日頃からの備えと早めの避難を

地震や大雨、土砂災害など、災害はいつ起こるかわかりません。日頃から必要なものは可能な限り備蓄し、避難場所や、とるべき避難行動などを「今治市総合防災マップ」で確認するなどして、家族と話し合っておきましょう。



気象情報に注意しましょう

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表後、大雨による土砂災害の恐れがある時にテレビやラジオなどを通じて、愛媛県および松山地方気象台から共同発表される情報です。避難の目安としてください。

危険を感じたら、早めに避難しましょう

土砂災害に関する警戒レベル3以上の避難情報が発令された区域に居住している方で、特に配慮が必要な避難者などに対する宿泊費の一部（1泊あたりの上限4,600円）を補助する制度があります。

補助金
交付制度について



土砂災害防止に関する作品コンクール 受賞作品巡回展を開催

■日時 7月7日(月)～10日(木)
8:30～17:00

■場所 市役所 本館1階ロビー

■問合先 防災危機管理課 TEL 0898-36-1558 FAX 0898-32-2765

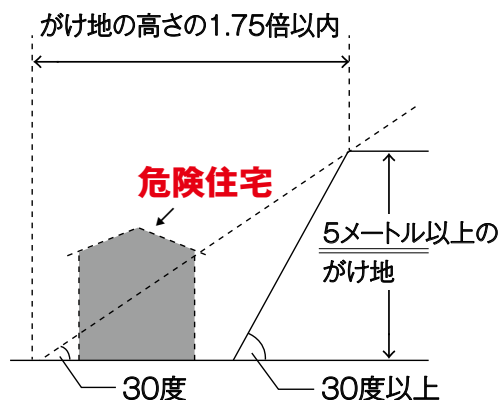
住宅ががけ地に 近接している方への補助制度

右図のような、がけ地に近接している住宅や、県が指定する土砂災害特別警戒区域内の住宅に居住の方で、安全な場所に住宅を移転する場合に移転費用などの補助制度があります。

■問合先 建築住宅課
TEL 0898-36-1566
FAX 0898-25-2015



建築住宅課



NEWS

6月8日～14日 令和7年度危険物安全週間

危険物の貯蔵取り扱いには十分注意し、私たちの身の回りから危険物災害をなくしましょう。

「危険物無事故へ挑むゴング鳴る」

■問合先 消防本部予防課
TEL 0898-32-6666(代)
FAX 0898-32-0119(代)